

データとは違うアナログの魅力

「レコードを買ってきて、一日中聴いたわ、恋人より大事なレコード」という一節が、チューリップ「私のアイドル」の歌詞にあります。

この数十年で、音楽メディアは、レコード→カセットテープ→CD→データ配信と大きく移り変わってきました。レコードという今ではすっかり前時代の遺物ですが、モノに対する所有者の愛着という点では、もっとも強い媒体ではないでしょうか。

博物館では、皆さんからの寄贈によるレコードを聞く「レコードの時間」を開催しています。なつかしの流行歌・ジャズ・クラシック・アニメソングなど毎回かける曲はさまざまです

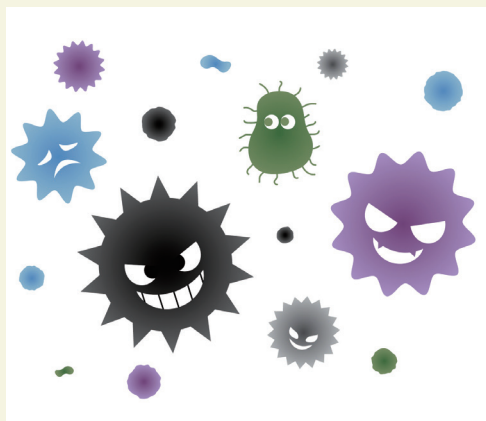
昭和の音を聞いてみませんか。

レコードの時間

今回は懐かしい童謡・民謡を流します。

とき 3月15日 日
午後2時～4時

ところ 1階ロビー



コロナウイルスについて連日テレビでも報道が過熱していますが、私は大学時代に魚のばい菌や病気を専攻していたので、まず初めに病原菌とは何者であるかを勉強させられることから始まりました。そんなことより毎日遊びたかったのでツライ日々でした。そもそもばい菌とは何なのか。



で人にとって悪いものを総じてばい菌といいます。乳酸菌や納豆菌は良いやつなのでばい菌ではない。サルモネラ菌とかビブリオ菌はばい菌。身代金や借金もあり関わリたくないけれどこれは字が違ふ。では細菌とウイルスはどうかというところも一緒でない。細菌のラテン語がバクテリアで、外部から栄養を取り細胞分裂などで増えます。細菌は自分で動ける単細胞生物です。そう言われるとなにか急に親近感が沸くではないか。

ウイルスは自分では動けなくて、細胞を持たず他の誰かの細胞内に入り間借りをしないと増殖できません。外部からの栄養を取らないなどの特徴もあり、生き物なのかそうでないのかあいまいなやつです。

ここまできて何が何だかわからない、どうでもいいそんなことか、今回の話題はめんどくさいなあと思う方が多いかと思えます。安心してください、ボクもそう思っていますよ。